

社会調査に役立つ統計分析：SPSSワークショップ

2019年3月5日(火)、6日(水)、7日(木)、8日(金) 講師：金明中先生(ニッセイ基礎研究所)

現代女性キャリア研究所では、2012年から毎年学内の学生・教職員を対象として、「社会調査に役立つ統計分析：SPSSワークショップ」を開催しています。2015年度からはメディアセンターの協力により、コンピューター演習室の利用が可能となり、充実した環境でたくさんの方に知識を提供することができるようになりました。

講師を務めているニッセイ基礎研究所の金明中先生には、SPSSの基本操作からデータの加工などの基礎知識と、統計分析の理解からクロス集計、統計分析(回帰分析など)、SPSSの応用を4回にわたってご講義いただきました。3月5日(火)、6日(水)の入門編と7日(木)、8日(金)の応用編に分け、実践的学習の一層の充実をはかりました。

参加後のアンケートには、授業の内容やテキストに対し、わかりやすく、理解がより深まったとの声が多数寄せられ、本年度も大変好評なワークショップとなりました。



東京女子大学・日本女子大学 共催 オトナ女子会

2018年7月13日(金) 講演者：鎌田由美子氏(カルビー(株)上級執行役員 事業開発本部本部長)

東京女子大学エンパワーメント・センターと共催で、今年度で4回目となるオトナ女子会を開催致しました。第一部は、日本女子大学OGでエキュート等を手がけられ、現在カルビー執行役員を務められる鎌田由美子さんをお迎えし、「Just Do It!」のテーマでのご講演、第二部は立食形式の交流会、皆さまのネットワークを繋げる場として活用して頂きました。50名近い方にご参加頂き、皆さまから大変ご好評を得られ、多くの方から次回参加を望む声も聞かれました。



RIWAC-DA (リワック・データ・アーカイブ)

国際婦人年(1975年)以降に実施された、女性とキャリア(生き方)に関する社会調査を多数収集し、その詳細書誌データをデータベース化しネット上で公開しています。レポートや論文作成、ゼミ報告などに、多様な社会調査をぜひご利用ください。

<http://search.riwac.jp/>
所蔵件数1563件(2019年2月現在)



『現代女性とキャリア』発行

年に一回、「現代女性とキャリア」を発行しています。論文のほか主催した講演会やシンポジウムの記録、研究所の事業活動に関する報告を収録しています。また、投稿論文も受け付けております。詳細はHPをご参照ください。本書をご希望の方は、送料負担のみでお送りできますので、メールにて当研究所へお問い合わせください。



お願い

現代女性キャリア研究所では、女性とキャリアに関する社会調査のデータアーカイブ(<http://search.riwac.jp/>)を公開しています。女性とキャリアに関する社会調査資料をお持ちの方は、ご協力お願いいたします。

News Letter

Research Institute for Women and Careers

RIWAC

日本女子大学
現代女性キャリア研究所

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1

TEL 03-5981-3380 FAX 03-5981-3381

E-mail riwac@fc.jwu.ac.jp URL <http://riwac.jp/>

日本女子大学現代女性キャリア研究所10周年記念シンポジウム

女性の活躍推進と働き方改革



2018年12月8日(土)開催

2008年4月に創設された現代女性キャリア研究所は「女性の活躍推進と働き方改革」をテーマに、10周年記念シンポジウムを開催いたしました。

初代所長岩田正美先生からは、女性の高等教育を掲げて長い歴史を持つ本学が、このような研究所を設立した由来について説明があり、多くの女性が多様な選択の機会を広げることのできる社会へむけて、これからも研究所が大いに貢献していくことへの期待が述べられました。

第1部では、大沢真知子現研究所所長から研究所10年のあゆみの他、「RIWACの10年を振り返り国際比較の視点から日本の女子労働の課題を探る」についてお話いただきました。

続く基調講演にはカルビー(株)シニアチェアマンの松本晃氏をお迎えし、「ダイバーシティ経営と女性活躍推進」をテーマにどのようにして女性の活躍を推進し業績をあげたのかについて現場からのお話をうかがいました。

また、法政大学武石恵美子先生からは「女性の活躍推進の課題」について、政策研究大学院大学の黒澤昌子先生からは「両立支援と柔軟な働き方」についてお話いただきました。

第2部では、武石先生、実務家として三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)の矢島洋子さんをお迎えし、大沢真知子所長を含めた3人によるパネリスト講演、質疑を交えたパネルディスカッションを行いました。日本で女性が活躍するためにどのような課題があるのかについて考えるとともに、その解消にむけてどうしたらいいのか、各分野の専門家が話し合いました。

具体的な課題提示や解決策に関する議論まで行われ、非常に有意義なシンポジウムとなりました。約100名に及ぶ参加者を迎え、盛大な会となりました。

講演の詳細については、次号『現代女性とキャリア』第11号(2019年秋頃発行予定)に掲載されます。



松本 晃氏
(NEZAグループ(株)取締役、
カルビー(株)シニアチェアマン)



武石 恵美子先生
(法政大学 教授)



黒澤 昌子先生
(政策研究大学院大学 教授)



矢島 洋子氏
(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
執行役員)

中小企業調査報告書刊行

再就職を目指す女性の新たな就職先として大企業にだけこだわっているのは、その実現は難しいのが現状です。大企業の新卒一括採用システムや、大規模な組織であるがゆえの硬直的な人事制度は再就職を阻む壁として存在するからです。中小企業の中には多種多様な業種や規模、業態が含まれますが、再就職希望者からするとその実態は見えにくいので、本研究所では、中小企業における女性の働き方を知るために、2017年よりおもに中小企業経営者にインタビューを行ってきました。女性に対する期待、女性が仕事を続け、力を発揮できる環境づくりなどについて、事例研究として報告書を刊行します。

研究会

Better Work, Better Life

講師：Brigid Schulte (The director of the Better Life Lab at New America)



元ワシントンポストの記者で、現在アベフェローシップを受け日本の過労死について取材されているBrigid Schulteさんをお招きして、アメリカの共働き世帯のワークライフバランスの実態についてご講演頂きました。

2015年3月に出版されNY Timesでベスト・セラーとなった注目の著書「Overwhelmed: Work, Love, and Play When No One Has the Time」を元に、アメリカ人の長時間労働における実態や余暇時間の重要性についてお話頂きました。

研究者や大学生も交え、活発なディスカッションが行われました。

2018年5月22日(火)開催

21世紀の日本におけるジェンダー、政策、家族形成

講師：福田 節也先生 (国立社会保障・人口問題研究所 企画部第2室長)

国立社会保障・人口問題研究所、研究員の福田節也先生をお招きして、研究会を開催しました。

合計特殊出生率とジェンダー統計との関連について、様々なデータを人口学の観点からご説明頂きました。女性における独身就業傾向の高まりや、学歴下方婚の増加等、新しい知見をご紹介くださり、とても学びの多い研究会となりました。

2019年1月25日(金)開催



主婦パートタイマーの基幹労働力化

講師：金 英先生 (Department of Sociology, Pusan National University, Director, Center for Women's Studies in PNU)



『主婦パートタイマーの処遇格差はなぜ再生産されるのか：スーパーマーケット産業のジェンダー分析』をご執筆された、釜山大学の金英先生をお招きして研究会を実施しました。

ご著書の研究のお話に加え、先生ご自身の博士号取得までのキャリアについてのお話として、日本への留学、その後のヒアリングでのご苦労や工夫なども合わせてお話頂きました。日本において、1970年代後半のルイスの転換点後、パートタイマーが基幹労働力化されていった実状について、綿密なフィールドワークを基に分析されており、大変興味深い研究会となりました。

2019年2月8日(金)開催

「くらしと仕事に関する調査」に基づく、少子化対策提言に向けた諸研究

講師：白井 恵美子先生 (一橋大学経済研究所 准教授)

一橋大学・経済研究所准教授の白井恵美子先生をお招きして、研究会を開催しました。一橋大学・経済研究所の「くらしと仕事に関する調査」からご執筆された4本の論文をご紹介頂きました。父親がフレックスタイム制で働くことと母乳育児との関係(「母乳育児と親の就業」)、夫の長時間労働の改善による影響について(「夫婦の家事分担と妻の夫に対する満足度」、「親の働き方と子どもの家庭教育」)、妊娠に関する正確な知識の影響(「妊娠知識が出産に対する主観的期待に与える影響」)について貴重なお話を頂きました。

2019年3月1日(金)開催

